

白熱議論

市のサービス
何が変わるの？

税金の
使い道は？

八尾市の課題って
何なの？

2日間8人の

読んでみよう

個人質問

個人質問とは？
議員が、広く市政全般のことについて、市に対して説明を求めたり、疑問について聞くことをいいます。八尾市議会では、答弁を含まず30分の持ち時間となっています。

個人質問

▶ QRコードから、各議員の質問の映像を見ることができます。



口座振替手続きのWeb化など、納税環境の整備が望まれる。

- その他の主な質問項目**
- 償却資産税における実地調査
 - 複式簿記・発生主義会計導入に向けた研究・検討内容

大阪維新の会
木村 健二

**税務行政DXの推進
納税の利便性向上を**

Q 納税環境の整備の一つとして、口座振替手続のWeb化により、市民の利便性向上や事務の効率化が見込まれると考えるがどうか。

A 他市の事例研究を十分に行い、費用対効果が認められる場合は導入したいと考えている。

Q 客観的に事業の有効性を判断するため、施設別・事業別の会計情報の整理が必要と考えるがどうか。

A 将来かかる総事業費の見込みや市民1人当たりの負担を考えた中で、検討すべきと考えている。また、今後の運営費の見込みを含んだ管理コストを示すべきであり、会計情報の整理は必要になってくると考えている。



市立病院の安定運営のため、働き方改革が求められる。

- その他の主な質問項目**
- 避難所としての学校施設の機能強化
 - サーキュラーエコノミー

無所属
露原 行隆

**コロナ禍の教訓を
病院の働き方改革に**

Q 市立病院について、令和5年度と比べ一般会計からの繰入金が大幅に減少している。コロナ禍の教訓から、今ある環境は決して当たり前ではないと考えるが、どのような財政協議を行ったのか。

A 病院の経営を支障なく行うために必要となる資金剰余額を考慮し、財政協議を行い予算編成をした。

Q 市立病院には経営資源・医療資源を確保するための努力が求められている。医師をはじめとした医療従事者の働き方改革について市の見解は。

A チーム医療で一丸となった運営とするため、医療従事者のワークライフバランスを考えた、働きやすい環境を整備していく。



教科書の採択方法は公正性の確保と多くの市民に関心を持ってもらうことが必要。

- その他の主な質問項目**
- 防犯対策

八尾保守の会
川上 舞

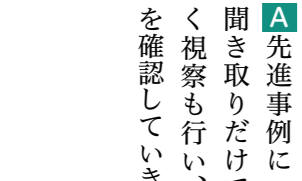
**郷土愛を育む
教科書の採択を**

Q 本市で採択した教科書が子どもたちの学びの礎となるため、学習を通して自国への誇りや郷土愛を育むことが重要だと考えるが、教科書採択の公正性をどのように確保しているのか。

A 選定委員が公開の場で審議の上、教科ごとに採択を行っている。また、採択結果や関係資料を市ホームページ等で公開している。

Q 多くの市民や保護者が教科書に関心を持ち、閲覧できる環境づくりが重要だと考えるが、どのように教科書展示会を実施しているか。

A 法定展示期間等に教育センターおよび八尾図書館において、特設ブースを設置し、展示会を開催している。



エンディングノートは単に遺言書のようなものではなく、自分が歩んできた人生を見つめ直し整理していくノートであり、終活支援として無料で配布する自治体が増えている。本市においても無料で全戸配布するとともに、コミュニティセンターなど各地域の身近な場所でも、市民に寄り添った作成支援に取り組むべきではないか。

- その他の主な質問項目**
- 子どもの相談支援
 - 脱炭素の取り組み

公明党
南方 武

**エンディングノート
配布と作成支援を**

Q エンディングノートは単に遺言書のようなものではなく、自分が歩んできた人生を見つめ直し整理していくノートであり、終活支援として無料で配布する自治体が増えている。本市においても無料で全戸配布するとともに、コミュニティセンターなど各地域の身近な場所でも、市民に寄り添った作成支援に取り組むべきではないか。

A エンディングノートの作成及び配布、あわせて作成支援を行うための検討を行っている。

Q おくやみコーナーについて、ワンストップ化を実現すべきである。すでに実施している先進事例を視察するなどの研究を行っているのか。

A 先進事例について聞き取りだけではなく、状況を確認していきたい。

日本共産党
田中 裕子

**水道事業の広域化
災害時の飲み水は**

Q 大規模災害時、水道局は八尾市災害対策本部の指揮命令系統において応急給水活動班として、直ちに給水活動を開始すると考えるが、広域水道企業団に統合するとどうなるのか。

A 市の災害対策本部からの指揮命令系統はないと考えている。現状ではオブザーバーという形が多いが、他市事例も研究し検討を進めていきたい。

Q 特別支援学級は全国では増加しているが大府府では減少に転じており、本市においても小学校・中学校の1年生における減少が著しい。週の半分以上を特別支援学級で学ばなければいけないという文科省通知の目安が、押し付けられているからではないか。

A 保護者に対して、支援教育の方向性や通知の趣旨などを、各学校において適切に説明し、理解いただくよう対応している。

日本共産党
越智 妙子

**困難を抱える女性へ
アウトリーチ支援を**

困難な問題を抱える若年女性に対する自治体の支援の実施状況

相談及び面談（電話・メール・SNS等）	76.6
自立支援（学校や家族との調整、就労支援、医療機関との連携による支援等）	45.4
居場所の提供	14.3
夜間見回り・声掛け・ICTを活用したアウトリーチ	1.1
その他	11.7
行っていない支援はない	14.0
無回答	0.5
全体(n=1,019)	

出典：「困難な問題を抱える若年女性の包括的な支援に関する調査研究」に係るアンケート調査

Q 女性の福祉の増進、人権尊重、男女平等を目的とし、国や地方公共団体の責務を明確にした画期的な法律が成立した。家族の崩壊、居場所がない、望まぬ妊娠などの困難を抱えながらも相談先が分からない若者の実態調査は急務ではないか。また、ネット相談やアウトリーチなども必要ではないか。

A アウトリーチ型の相談事業を「すみれ」で行う予定である。また、府に合わせて本市においても計画をつくっていききたいと考えている。

所管事務調査 報告の概要

【所管事務調査とは？】

常任委員会で自主的にテーマを決めて市政について調査を行うことです。議会が自ら調査を行うことで、市議会の政策力を発揮することができます。

令和5年度中の調査について、各常任委員会で最終報告書をまとめ、市長に提出しました。



市の施策の現状を聞き取り、課題等を確認した。また、他市の先進事例を視察し、本市にどのように生かすことができるのか研究した。

総務常任委員会

【テーマ】

- ・ 少子高齢・人口減少社会を見据えた地域防災及び地域減災について

【報告内容(抜粋)】

今後、令和6年度中に全28地区における地区防災計画の策定を完了することを目指し、取り組みを進めることを求める。

また、災害時要配慮者支援の観点から、各地区の高齢化率等の地域特性も踏まえた計画策定について取り組むことを求める。

文教常任委員会

【テーマ】

- ・ GIGAスクール構想の現状について
- ・ 教職員の働き方について

【報告内容(抜粋)】

令和6年度から、モデル事業の実施を予定しており、今後、モデル事業の効果検証等を適切に行うとともに、教員の部活動指導に関する負担が減少することで、子どもたちの成長や発達をサポートするための、子ども一人一人と向き合う時間を確保することが可能となるように、本市としての最適な実施形態について、研究・検討されたい。

建設産業常任委員会

【テーマ】

- ・ 芸術文化とまちづくりについて
- ・ 観光政策について

【報告内容(抜粋)】

「やおうえるかむコモンズ」を充実・発展させていくためには、「コモンズ」に参画する主体を増やし、創造と交流の場を市内全域に広げていく必要がある。その中で、誰もが芸術文化を気軽に発表できる場の提供やマッチング及びその取り組みの中で、核となるコーディネーターやリーダーとなる人材の発掘や育成に取り組み、行政のみではなく市民を中心に活動の輪が広がるよう環境を整備されたい。

健康福祉環境常任委員会

【テーマ】

- ・ 健康寿命の延伸について(認知症対策)

【報告内容(抜粋)】

若年性認知症にも対応できる相談・支援体制を築くとともに、そのニーズを把握し、個別支援や本人・家族交流会、若年性認知症の方が望む、自分らしい生活を続けられるよう、認知症とともに前向きに歩むことができるチーム作りに欠かせない若年性認知症支援コーディネーターの養成等、若年性認知症の特性に配慮した取り組みを充実されたい。



報告書全文はホームページに掲載



市民の命と財産を守る補助制度に

八尾の未来を紡ぐ会
柴谷 匡哉



Q 昭和56年以前建築の旧耐震基準の住宅における耐震化を加速させるとともに、さらに耐震改修工事補助の対象を、最新基準の平成12年までにするなど、補助制度の拡充に向けた積極的な取り組みが必要ではないか。

A 本市では、いまだ旧耐震基準の住宅が多く、所有者が多額の費用を要する耐震改修工事に踏み込めない実情がある。市民の命と財産を守るため、耐震補助制度の見直しを含め、早急に検討していく。

Q 物価高騰などの影響により、融資等の返済に困窮する中小企業が増える中、弁護士や税理士などの専門家と連携しながら、企業の実情に応じた支援を行うべきだがどうか。

A 中小企業が抱える課題が多様化する中、経営相談をはじめとした相談業務については、各分野に精通した専門家と連携を図るなど、支援体制のさらなる強化を図りたい。



庁舎内での政治活動 毅然とした対応を

大阪維新の会
稲森 洋樹



Q 職員労働組合等が庁舎の目的外使用許可を受け、極めて政治的中立性を欠く機関紙を作成・発行頒布し続けている。これは職員の厚生活動と言えるか。

A これまで組合活動には一部政治活動も含まれるという解釈をしていた。新たな判例等の情報も収集し、適切に対応したい。

Q 市職労機関紙で令和5年の知事選挙の期間中に、特定の候補者の名前を出し、その主張を掲載している。公職選挙法違反ではないか。

A 現在、調査中である。

Q 市民サービス提供のための庁舎スペースが手狭になりつつある中、漫然と特定の団体へ無償で使用許可を出し続けるべきではない。庁内で政治活動がやりたい放題の状況も抜本的見直しが必要だが見解はどうか。

A 一般的な感覚では異常な状況であると感じる。市民の税金で成り立っている市役所なので、疑念を抱かれないよう対応していく。

いじめ反対の意思表示

ピンクシャツDAY 議会を開催

令和6年2月28日(水) 本会議の開会に先立ち、議場で「ピンクシャツDAY議会」を開催しました。議員ならびに職員がピンク色のTシャツを着用し、いじめ問題に取り組む姿勢を発信しました。

また、「いじめを絶対に許さない」という信念のもと、最終本会議において、「いじめの防止等に関する決議」を議員提案し、全会一致で可決しました。

【ピンクシャツ運動とは？】

カナダ発祥で、ピンクシャツを着ることやピンク色のものを身に付けることにより、いじめ反対の意思表示を行う運動です。八尾市においても、2月の最終水曜日のピンクシャツデーには、市内の様々な場所で取り組みを行っています。



本市におけるいじめ防止の取り組みについて執行部から活動報告が行われた。



会議の出席者全員がピンク色のTシャツを着用した。